

一人ひとりの夢・思いを大切に

福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



40年の歴史のある 手話舞踊サークル「森のひかり」式典にて（関連2面・3面）

らうんじ

品川総合福祉センター事務局長に就任して三ヶ月が過ぎました。各施設の職員が、日々ご利用者の支援や地域の方々との連携に努めている中、事務局では人材確保や経営改善等の諸課題に積極的に取り組んでいます。

新たな一步を踏み出す上で、さらに成長していく必要があると考えます。

法人が掲げる理念の一つに『挑戦する職員集団』という言葉がありますが、実現するために、着任以来、様々な場面で「達成感のある仕事をしよう!」と言い続けています。

ご利用者、ご家族、地域の方々に満足していただける仕事、そして自分自身が納得できる仕事を積み重ねることにより、法人として飛躍できると信じています。

これからも全職員が一丸となって達成感のある仕事の実現に向け取り組んでまいりますので、関係各位、地域の皆様の引き続きのご支援をよろしくお願ひ致します。

事務局長 寺嶋 清

品川総合福祉センター 開設40周年記念式典

令和五年四月八日(土)に大井町のきゅりあんイベントホールで、開設四十周年記念式典を開催しました。七階エレベーターホールにはお祝いの花々が並び、区長をはじめとした区の関係者や、関係機関、地域のボランティアの代表の方など、日頃お世話になってる百名を超える方々が参加してくださいました。

今回、記念品として、さつきが制作した花ふきんと、福祉工場しながわのプチレーブの焼き菓子のセット、四十周年の記念誌が配られました。会場では、かもめ、さつきの利用者の方が制作したアクセサリーや、福祉工場しながわのプチレーブの食パンやお菓子などが販売され、多くの方が足を止めてくださいました。

永田元

理事長の挨拶では、「私は開



永田元 理事長

設四十周年を迎え、次の十年に向け、従来から大切にしてきた「地域とともに」の理念のもと、地域の皆様との交流を深め、質の良い利用者本位のサービスを提供し、ご利用者やご家族、そして地域の皆様への信頼に応えるとともに、新しい課題にも果敢にチャレンジして参りたいと考えております。」と感謝と抱負を述べました。

次に品川区長の森澤恭子様から



森澤恭子 区長

「全国初の都市型複合施設を設立された後、区内二十六事業所において地域の福祉ニーズに対応されるまで規模を拡大されております。これもひとえに永田理事長をはじめ現場を支える職員のご尽力のたまものであるとともに、「地域とともに」という理念が地域の方に広く受け入れられたからだと思いい、心から敬意を表するとともに、今後も地域

福祉の拠点として大きな役割を担っていただきたいと思います。」と祝辞をいただきました。

続いて品川区議会議長の本多健信様から「昭和から平成、令和と続く四十年の歩みはまさに品川区の福祉施策の歩みといっても過言ではありません。この間、幾多の法改正や制度改正があり、新型コロナウイルス感染症のような生活様式を変えざるを得ないような困難な状況もありました。

そのような中でも品川区の福祉サービスが向上したことは品川総合福祉センターの協力をなしては行えませんでした。

40周年記念 福祉法人 品川総合福祉センター



森みつえ先生
手話での挨拶



後援会会長より福祉車両のレプリカキー贈呈



区議会として深く敬意を表したいと思えます。」との祝辞をいただきました。



曲「上を向いて歩こう」(かもめ知的)

品川区社会福祉協議会事務局長の榎本圭介様からは「当協議会のボランティアセンターにおいても品川総合福祉センターはメニューが豊富で希望に沿ったボランティアができる」と声が届いております。コロナ禍において受け入れを縮小する傾向のなかボランティアを快く受け入れていただきました。併せて大井町のイトーヨーカドー六階にある福祉ショップでは、さつき様の商品を置かせていただき、好



曲「翼をください」(かもめ身体)

評をいただきありがとうございます。と祝辞をいただきました。続いて感謝状贈呈式では、永年にわたり貢献をしてくださった企業、株式会社文化堂様とプルデンシャル生命保険株式会社品川第一支社様、個人のボランティアの五名様が壇上にあがられました。

受賞者の代表として森みつえ様よりご挨拶を頂戴しました。「私は昭和四十九年に、ろうあの方からいろいろな手話を教わってきました。今その手話を活かせることは本当でありがたいと大変感謝しております。他のボランティアさんと話をしてみますと、どなたも尊敬できる考えで参加されている人ばかり。そしてボランティアや利用者さんは職員を見ています。職員もまた、ボランティ



大勢の方が手拍子で応援してくださいました。

アや利用者者の行動を見ています。お互いに心を笑顔で通い合えたら楽しいだろうなあ。」と手話を交え表現されました。



曲「君を探して」(サンかもめ)

続いて後援会島崎会長より四十周年記念として福祉車両のレプリカキーを永田理事長に贈呈されました。島崎会長から「当初は品川総合福祉センターを支える会でした。その後、多くの地域の方の好意をいただき後援会を発足させていただきました。大勢の皆様のお心があるが故に後援会があることを他の法人さんにも羨まされるほどです。今後ともよろしくお願ひ致します。」と、ご挨拶を頂



曲「涙そうそう」(さつき)

戴しました。最後のアトラクションは、「品川総合福祉センター森のひかり」。前半はかもめ、さつき、サンかもめで構成された「リズム舞踊」。後半は、地域の方たちの「手話舞踊」です。感染対策をしながらの練習で大変だった分、日頃の練習の成果を発表することができ嬉しい機会となりました。

品川区民の皆様への福祉の向上に向けて、職員一同持てる力を全て出して、真摯な態度で事業に取り組みます。今後も、品川区内の皆様への福祉の向上に向けて、職員一同持てる力を全て出して、真摯な態度で事業に取り組みます。



かもめ、さつきの利用者制作の作品販売 (右) 施設の利用者の笑顔の生活場面 (左)

令和四年度 事業報告

品川総合福祉センター

令和四年度は法人四十周年を前に将来に向けての準備の年として位置づけて業務を進めました。今後に向けての中期計画を第二次未来創造図という形でまとめ、十年間の行動計画を示しました。

また、積み残しの課題として、虐待案件の発生、人材確保困難による慢性的な人出不足、高齢系施設中心に稼働率の低迷などについて、人権、人材、収支の各部会ごとに課題を整理し、第二期中期経営



「心のつながり地域とともに2022」アンケートと交換に野菜と果物をプレゼント

計画として具体的取組み方法を提示しました。

今後に向けての新しい取り組みとしてICT導入があげられます。先に導入が進められた、八潮南特養の実践例を共有するほか、入所系、通所施設でそれぞれ導入にあたっての課題検討や法人管理部門のICT化についても検討し導入に向けての具体的な計画を示しました。

三年目を迎えたコロナ対応では、利用者支援の他、多くの活動に制限がかけられ、生活の質の部分で大きな妨げとなりました。しかし、感染防止対策については職員の意識やスキルが向上し、度後半では大きなクラスター発生をくい止めることができました。今後も感染防止対策は継続しながら、徐々に制限を緩和し、利用者の生活の質に配慮して施設運営にあたっていきます。

高齢者部門

一 入所施設

令和四年度もコロナ感染の影響は大きく、高齢者入所部門では稼働率低迷の大きな一因となりました。

年度後半には感染対策の徹底により大規模なクラスター発生は回避でき、面会についても制限を緩和しながら直接面会を実施できるようになりました。

ICT導入は各施設とも一番の課題として取り上げました。八潮南複合施設では見守りシステムの導入で、正確な事故検証が可能となり、事故防止や通院回数を減らす等の効果が得られました。

今後、法人全体にも広げることができよう、情報共有を行います。



本部の園芸サークルで稲刈りをしました。

一通所施設

① 中延在宅サービスセンター 一人ひとりの要望やニーズに応え、在宅生活の継続のためのケアを行いました。

② 八潮在宅サービスセンター 介護予防事業の「マシントレーニン」が人気で多くのご利用がありました。



大井3丁目高齢者憩いの場のミニ健康教室

③ 大井在宅サービスセンター 理学療法士による介護予防のための「転倒予防エクササイズ」がとても好評でした。

④ 在宅介護支援センター 通常業務のほかに新型コロナウイルスワクチンの接種支援事業や、災害時の個別避難計画の作成、地域の自治会の方々と防災時についての情報交換を行いました。

⑤ 大井三丁目高齢者憩いの場 スマホ個別相談の再開やプログラム内容の充実を図り、多くの方の参加がありました。

障害者部門

①かもめ園・専門性のある関わり方、権利擁護、感染症予防の徹底を重点的に行い、また食の楽しみなどの余暇支援を行い、利用者の作品をカレンダーとして販売しました。

②さつき・軽作業では花ふきんや菓子箱折、クリーニングが売上を伸ばし、全体で工賃が向上しました。

③サンかもめ・日中活動プログラムを検討、地域清掃、カフェタイムの設定等余暇支援社会体験が進む内容を実施しました。

④福祉工場しながら…清掃・製パン・製陶事業とも順調に事業が進み、同時に作業支援作業環境の整備を進めました。

⑤心身障害者福祉会館・生活介護事業は安心して過ごせる環境作りや外出等の個別支援の充実を図り、また体験の機



レク時間はみんなの楽しみ

会としてバスボム（入浴剤）作りを開始しました。

自立訓練事業・令和四年度から定員を十二名に変更、送迎サービスと訪問型訓練を継続し、利用者増を図りました。

地域活動支援センター・手話体験講座は「区民向け」を実施、新たに「子ども向け」「企業・事業者向け」の講座を開講、多くの応募がありました。

旗の台障害児者相談支援センター・令和四年度は「生活のしづらさ調査」「個別避難計画作成」等品川区の委託補助業務を進め、一方、法人内の障害者相談支援事業所四か所合同会議を毎月開催しました。

品川区中延・大井第二・八潮障害者計画相談支援事業所・地域共生社会の実現に向けて、高齢者福祉施策との連携を図りました。

⑥ 鮫洲なぎさの家・利用者との対話から余暇支援等を進めました。

児童部門

八潮北保育園は令和四年度に、品川区より当法人が運営を受託いたしました。

保護者との信頼関係を構築すると同時に課題を一つ一つ改善し、運営の理解が得られることで園児が安全で安心できる環境の提供に努めました。

また、八潮中央保育園は大規模改修を実施し、様々な面が整備されました。

園庭が人工芝に変わり、自由にハイハイをしたり、走り回ったりすることができるようになりました。

今後、園児達のがのびのび快適に過ごせる環境作りを開拓していきます。



広い公園で「出発進行!!」

地域福祉課

令和四年度も「心のつながり地域とともに二〇二二」を開催。法人へのメッセージをくださった地域区民の先着二百名様に野菜&果物の詰め合わせをプレゼントし、地域貢献&交流をしました。

福祉啓発講座では「ヤングケアラーのためにできること」をテーマに法人講座で初の、会場とWEBのハイブリット開催をし、定員を超える百十四名の参加がありました。

福祉教育では、区内の中学校や小学校に福祉の仕事について説明&体験の機会を設け、障害者福祉への理解を促進しました。企業ボラの活動受入れも再開し、良好な関係継続に努めました。ふくしまつりに利用者動画を作成し参加、広報活動を行いました。



大崎中学校で福祉講話を行いました。

令和4年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

小野 孝	菊地 広美	小林 信一	島崎 妙子
滝澤 みよ子	田原 達代		

団体

イトーヨーカドー労働組合大井町支部	(株)日本製鋼所労働組合本社支部	かもめ園家族会(知的)	品川区社会福祉協議会
品川総合福祉センター後援会	東京都共同募金会	東京都食肉生活衛生同業組合	東京清涼飲料水工業組合
日本基督教団 大井町協会 にじの会	伯東(株)	八潮中央保育園父母の会	八潮4号棟自治会

貸借対照表

令和05年 03月 31日 現在

令和4年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,124,324,736	1,085,829,549	38,495,187	流動負債	342,582,267	309,235,485	33,346,782
現金預金	656,900,398	668,547,828	-11,647,430	事業未払金	186,909,670	160,426,601	26,483,066
事業未収金	442,643,293	404,671,989	37,971,304	1年以内返済予定長期借入金	10,010,000	10,010,000	0
未収補助金	1,600,000		1,600,000	1年以内返済予定リース債務	9,177,984	7,751,232	1,426,752
商品・製品	2,546,323	2,561,636	-15,313	預り金	7,485,899	3,316,016	4,169,883
原材料	2,479,669	1,890,450	589,219	職員預り金	13,389,714	11,238,633	2,151,081
立替金	472,469	241,601	230,868	賞与引当金	115,609,000	116,493,000	-884,000
前払金	3,112,990	2,074,757	1,038,233	固定負債	299,750,154	297,567,284	2,182,870
前払費用	352,729	154,931	197,798	設備資金借入金	68,400,000	78,410,000	-10,010,000
仮払金	14,627,200	9,713,062	4,914,138	リース債務	14,713,116	13,739,148	973,968
徴収不能引当金	-410,335	-4,026,705	3,616,370	退職給付引当金	216,637,038	205,418,136	11,218,902
固定資産	1,528,893,920	1,605,346,455	-76,452,535	負債の部合計	642,332,421	606,802,769	35,529,652
(基本財産)	636,831,845	719,926,145	-83,094,300	純資産の部			
建物	635,831,845	718,926,145	-83,094,300	基本金	1,000,000	1,000,000	0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	476,088,846	535,732,788	-59,643,942
(その他の固定資産)	892,062,075	885,420,310	6,641,765	その他の積立金	468,583,327	473,916,327	-5,333,000
建物	2,017,806	2,428,205	-410,399	人件費積立金	39,350,000	39,350,000	0
車輛運搬具	23,435,216	24,453,725	-1,018,509	修繕積立金	15,197,000	18,800,000	-3,603,000
器具及び備品	139,610,465	139,740,404	-129,939	備品等購入積立金	15,630,000	29,520,000	-13,890,000
有形リース資産	23,891,100	21,490,380	2,400,720	設備等整備積立金	4,620,000	4,620,000	0
ソフトウェア	17,327,691	17,890,663	-562,972	設備更新積立金	393,786,327	381,626,327	12,160,000
退職給付引当資産	216,637,038	205,418,136	11,218,902	次期繰越活動増減差額	1,065,214,062	1,073,724,120	-8,510,058
人件費積立資産	39,350,000	39,350,000	0	(ひら当期活動増減差額)	-13,843,058	-54,659,893	40,816,835
修繕積立資産	15,197,000	18,800,000	-3,603,000	純資産の部合計	2,010,886,235	2,084,373,235	-73,487,000
備品等購入積立資産	15,630,000	29,520,000	-13,890,000				
設備等整備積立資産	4,620,000	4,620,000	0				
設備更新積立資産	393,786,327	381,626,327	12,160,000				
差入保証金	20,000	20,000	0				
長期前払費用	489,432	12,470	476,962				
その他の固定資産	50,000	50,000	0				
資産の部合計	2,653,218,656	2,691,176,004	-37,957,348	負債及び純資産の部合計	2,653,218,656	2,691,176,004	-37,957,348

事業活動計算書

(自) 令和04年 04月 01日 (至) 令和05年 03月 31日

令4年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

		本年度決算	前年度決算	増 減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,854,833,587	1,811,619,789	43,213,798
		保育事業収益	420,391,573	241,946,305	178,445,268
		就労支援事業収益	149,327,294	140,486,951	8,840,343
		障害福祉サービス等事業収益	1,266,053,337	1,219,512,612	46,540,725
		公益事業収益	42,902,866	41,863,001	1,039,865
		経常経費寄附金収益	2,417,766	3,201,325	-783,559
		その他の収益	564,560	3,695,972	-3,131,412
		サービス活動収益計(1)	3,736,490,983	3,462,325,955	274,165,028
	費用	人件費	2,417,188,680	2,302,882,200	114,306,480
		事業費	422,473,982	383,163,757	39,310,225
		事務費	694,368,397	619,097,496	75,270,901
		就労支援事業費用	197,545,571	185,009,349	12,536,222
		利用者負担軽減額	312,490	292,008	20,482
		減価償却費	140,183,821	128,662,079	11,521,742
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-72,641,038	-69,359,090	-3,281,948
徴収不能引当金繰入		115,746	67,194	48,552	
サービス活動費用計(2)	3,799,547,649	3,549,814,993	249,732,656		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-63,056,666	-87,489,038	24,432,372	
サービス活動外の部	収益	受取利息配当金収益	26,101	71,752	-45,651
		その他のサービス活動外収益	51,504,924	41,955,277	9,549,647
		サービス活動外収益計(4)	51,531,025	42,027,029	9,503,996
	費用	その他のサービス活動外費用	2,130,950	1,584,021	546,929
		サービス活動外費用計(5)	2,130,950	1,584,021	546,929
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	49,400,075	40,443,008	8,957,067
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-13,656,591	-47,046,030	33,389,439	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	7,993,280	72,557,638	-64,564,358
		施設整備等寄附金収益	6,056,680		6,056,680
		固定資産売却益	95,250		95,250
		その他の特別収益	1,035,285	24,047,762	-23,012,477
		特別収益計(8)	15,180,495	96,605,400	-81,424,905
	費用	固定資産売却損・処分損	2,347,866	88,049	2,259,817
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-1,052,864		-1,052,864
		国庫補助金等特別積立金積立額	14,049,960	72,557,638	-58,507,678
		その他の特別損失	22,000	31,573,576	-31,551,576
		特別費用計(9)	15,366,962	104,219,263	-88,852,301
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-186,467	-7,613,863	7,427,396	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-13,843,058	-54,659,893	40,816,835	
増減繰越額の活動の部	前期繰越活動増減差額(12)		1,073,724,120	1,172,434,013	-98,709,893
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,059,881,062	1,117,774,120	-57,893,058
	その他の積立金取崩額(15)		17,493,000	13,110,000	4,383,000
	その他の積立金積立額(16)		12,160,000	57,160,000	-45,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13+14+15-16)		1,065,214,062	1,073,724,120	-8,510,058

令和四年度福祉啓発講座 定員超えの開催！
「ヤングケアラーのためにできること」町亞聖氏

去る令和五年三月三日、大井町のきゅりあんの六階大会議室で、令和四年度の福祉啓発講座を開催しました。

今回は地域社会ニーズに目を向け「ヤングケアラーのたにめ」にできること 全ての事には時がある、十八歳からの十年介護」のテーマで開催。元ヤングケアラー・フリーアナウンサーの町亞聖氏に講演をしていただきました。

法人初の講座で、会場とWEB参加のハイブリッド開催の実施とICT救助隊の協力も得て、当日は定員を超える百十四名の参加がありました。WEB参加者は北海道や他地方からの参加者も多く、幅広く地域社会の意識の高さが伺え、講座開催の意義を改めて認識しました。



会場とWEBのハイブリッド開催

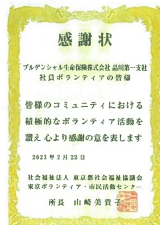


講演者 町亞聖氏

「ヤングケアラー」支援に向けて取り組みを始めている中、区民向けのヤングケアラー啓発講座の初の開催に、品川区と品川区社会福祉協議会より後援をいただきました。

町氏は、十八歳の時にお母様の介護に直面し、ご弟妹の母親代わりで過ごされた体験談を交え、ヤングケアラーが抱える課題、タイミングを逃さない自立のための支援の重要性、支援する側の専門職が守備範囲で線引きすることなく、「地域住民、誰もがソーシャルワーカーになることが重要」等、参加者の心に響くお話をしてくださいました。受講者一人ひとりが深く考えるきっかけをいただいた、貴重な機会となりました。

ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第一支社様に
ボランティア活動の貢献を称え感謝状



感謝状が贈呈されました。

二〇二二年東京ボランティア・市民活動センター主催の「企業ボランティア・アワード」へ、当法人よりブルデンシャル生命保険株式会社 品川第一支社の社員ボランティアの皆様の活動を推薦しました。その結果、ブルデンシャル生命保険株式会社品川第一支社様の貢献を称え、感謝状が贈られました。

御社は一九九八年よりボランティア活動を

開始、二十五年来も現在も活動をしてくださっています。

心障会



ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第一支社 増元 和也様(中央)

館では運動会などの運営補助や、利用者付き添いサポート。しなふる紅葉フェスタでは販売補助から舞台進行補助、利用者誘導。福祉教育イベント「こどものつどい」でも運営をサポートし、幅広い活動を大勢のメンバーで活動してくださいました。

いつも会場を盛り上げ、いろんなアイデアで職員を引っ張り、職員だけではできないことも叶えてくださっており、心から感謝申し上げます。

午前十時三十分～十二時
場所：品川総合福祉センター

一階（八潮五のの一）
対象：小学生～中学生
参加費：無料 先着二十名
締切り：七月二十四日（月）
申込み：お電話ください。

ひなまつりのつとめ案内

日本の伝統文化の「結び」を学び、ひもの扱いを楽しく覚えましょう。お楽しみゲームもあります。

日時：令和五年八月五日（土）